

鳥羽なかまち(仲間ち)で地域活性化に取り組もう!

「鳥羽なかまちで地域活性化に取り組もう!」では、鳥羽なかまちエリアの活性化のために私たち学生ができることは何かを考えていこうといった活動です。2021年度(今年度)から始まった活動です。来年度は、看板づくりとイベント企画の実行を中心に行っていく予定です。

TEAM DATA

メンバー数 : 7名
活動場所 : 鳥羽市
実施主体 : 鳥羽市・合同会社NAKAMACHI
担当教員 : 池山 敦(教育開発センター)
活動年度 : R03



月別活動

(7月) リモート打ち合わせ

(12月) 鳥羽なかまち歩き、現地打ち合わせ



(2月) リモート打ち合わせ

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

7月は、顔合わせを兼ねたリモート打ち合わせを行いました。

12月に初めての現地活動を行いました。最初の活動として、鳥羽なかまちについて知るために鳥羽なかまちエリアのまち歩きを行いました。

その後、鳥羽なかまちエリアを実際に歩いてみて、思ったことや課題などを出し合い、今後、この活動で何を行っていくべきかを決めていきました。その結果、鳥羽なかまちの認知度が低く、知らない人も多い、人通りが少ないため、人通りを多くする活動が必要といった具体的な課題から、「鳥羽なかまちの認知度を上げる取り組みを行う」という共通目標を定めました。

鳥羽なかまちの認知度を上げる具体的な取り組みとして、鳥羽なかまちを知らない人に向けた看板づくりと、鳥羽市外などで鳥羽なかまちにあるお店の商品の販売や鳥羽なかまちの紹介展示などを行うイベントを企画するといった2つのプロジェクトを行っていくことに決まりました。

新型コロナウイルス、大雨、津波注意報といった様々な影響により、思っていた活動がなかなかできず今年度は鳥羽なかまちを知ることや、活動の方向性を決めることしかできませんでした。来年度は、鳥羽なかまちを多くの人に知ってもらうための2つのプロジェクトの実行を中心に活動していきたいと思っています。また今後も新型コロナウイルスだけではなく、異常気象などといった影響を受け、現地での活動ができない可能性もあるため、リモート打ち合わせなども活用しながら、その時の状況に合った活動をさらに来年度は行っていく必要があると思いました。

活動を通して学んだこと

まちの活性化のためにはまず、まちを実際に歩いてみるなどを通して課題の明確化をしっかりと行うこと。そして明確化したまちの課題をどうしたら解決できるのかを考えていくにあたっては、「時間に限りがある中で、課題解決のために考えたことが現実的に実行可能なのか」、「考えたことを実行した際に、本当に活性化に繋がるのか」など、まちの活性化をしていくためには様々な観点から柔軟に考えることが必要であることを学びました。

実施主体からのコメント

**合同会社NAKAMACHI
ご担当者様**

我々とともに地域を盛り上げてくれる仲間として色々と取り組んでもらおうとしていたなかで、なかなか思うような活動が出来ず歯がゆい1年となってしまいました。その中でも、活動の目標「鳥羽なかまちの認知度をあげる取り組みを行う」を定め、具体的な取り組み内容も決まっていくなど、一歩ずつ活動は進んでいます。今後も皆さんのアイデアや力ををお借りしながら、共に目標に向かって取り組んでいきましょう。

担当教員より

教育開発センター 池山 敦

夏に計画していた現地での活動は記録的短時間大雨情報に、そして、冬に計画したものはトンガの津波により実施ができず、本当に自然の力強さに驚かされる一年でした。またコロナウイルスもまだ収束とはいえない状況です。しかし、その中でも人の営みは続いている、地域を盛り上げるための活動は続けていく必要があります。今できることを、しっかりと。今後も現地のみなさんにご指導いただきながら、地道に活動を続けていってほしいと思います。



成果物／制作物